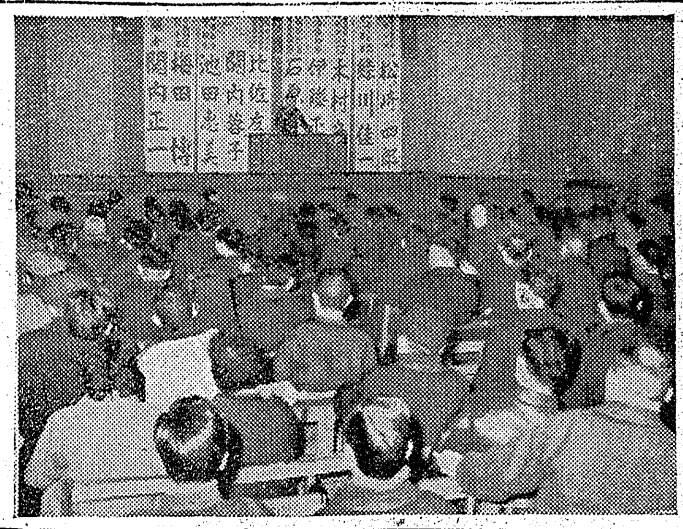
夕刊
いわき民報
発行所
平市田町四八番地
いわき民報社
電話381　1222

じゃんがら
全国各地へ発送の御用命をいただいております
本舗　みよし

破滅への一票 民主黨 社會黨
復興への一票 自由黨
關内候補の演説會 梅田博氏が強調

関内候補個人演説会は十九日夜平市公会堂と小名浜一小で開催した、両会場とも大入り満員の盛況で参議院議員木村守江、同石原幹市郎、政治評論家伊藤正雄、元読売新聞論説委員梅田博の諸氏が獅子吼し、最後に関内候補の立候補の挨拶があつて終了したが終始万雷の拍手が起り非常な盛会であつた、各弁士のうち演説の要旨の通り（写真は平会場の演説会風景



梅田　博氏

民主党ほど危険性の多い内閣はない、国民の人気をとろうという事にのみきゆうきゆうとしている思いつき内閣といわれる所以である鏡馬や鏡輪開催などで誤つても國家の根本を揺がすものでないから大したことはないが、こと外交問題となると黙つているワケには行かない、鳩山首相は中ソと国交調整をやろうとしているが、中国やソ連の性格をよく調査した上でやつて貰わないと取り返しのつかぬ事になる、私は新聞記者としてこの問題について重光外相を訪れ三十分に亘り意見を聴いたが確固たる信念がなく曖昧模糊としていた鳩山総裁と重光さんはこの問題で意見が合わない、こうした大問題に対して内閣の意見が不一致であるという事は信念に欠けているからである、問題の島ハボマイ、シコタンなどはソ連では昨年憲法の中にこの両島を書き入れて仕舞つている、そこでソ連は憲法を改正してまでこれを直ちに返還するようなことは恐らくあるまい、斯うしたことをもよく調査した上で外交を進めて貰わないと全くあぶないソ連の性格は片面が赤、片面が青の黒面をかぶつていることに現内閣は気がついていない、一時アメションというのが流行つたが、近頃中ションというのも流行つて来た、左社の鈴木委員長なども民主党の某代議士なども中国を視察して来たが何れも中国は進歩した平和国家だとホメている、周恩来首相に会つたとき同首相に「日本は独立国家として軍備を持つことが必要だ」といわれて無軍備を主張で、して来た鈴木委員長は赤面したということは周知の事実である、社会党の様な考えでは日本の将来は危険千万である、自由党は全く新たなものとなりどの政党総裁と比較しても緒方総裁はその立派さにおいて識見において第一であることは何人も認めるところである日本の将来を托して誤りがない政党は自由党であると述べ次いで保守合同にあるということを堅持し昨年の吉田総裁が解散を主張したのに対し総辞職を主張して遂に総辞職を断行し自由党に不利な選挙を覚悟の上でこの選挙となつたのである吉田自由党時代に汚職問題が出たが緒方時代に至つて自由党は全く

比佐友香氏

自由党の総裁緒方竹虎氏はかつて朝日新聞の名編集長として民主主義を護り軍部の弾圧から身をもつて朝日を守つた人でわれわれは今もつて氏の教えを受けている、緒方総裁は民主主義は筋を通すことを会党の理想的書生論では国家は立たない、今度の選挙は諸般の事情を考えると極めて重大で日本復興の一票は自由党へ、破滅への一票は民主党と社会党へといつて過言でない

石原幹市郎

関内候補は党内では信望を得ており、代議士二期の間に委員長を二つもつとめるなどは余り例の無いことである、江名鉄道完成の推進力となつたのも関内候補であつた常磐地方綜合開発については実行力のある人を選ばなければならない、次の国会には石炭合理化の法律案が提出されること、思うが、こういう折、地方事情に精通した地元選出の候補者を国会に送るようにしたい、民主党では安定政権は出来ない、社会党は右と左に分れ、左派の方が強い傾向にあり統一はムズカシイであろうから、これも安定政権とならない、矢張り六年間の自由党の実績が必ずやものを言うであろうと述べ社会党の議会における暴力革命の片鱗を見せた暴力を糾弾し民主党のオベンチヤラで無計画、寄り合世帯の無責任さを痛烈に批判した

木炭の適正檢査へ
地事所で〝精煉計〟を購入

昨年末から木炭の適正検査を指導中だつた地方事務所林務課ではこのほど金二万二千円で林試式〝精煉計〟なるものを購入し「今後は絶対木炭検査に誤りはありません」と張り切つている、この精煉計は横一〇㌢立一五㌢の携帯に便利なメーター器で検査棒を炭にあてると針がピタリと目盛りを指す、従来は相当熟練した検査員で木炭の未炭化度合いは皮を削つたり、火をつけて見ないと判らなかつたが、この精煉計は炭俵のそとから検査棒を指し込むとたちどころに正確な炭化具合が判るという、能率的にも適正検査の革新的なもので、同課では新年度から五台購入して適正検査に乗り出し品質の向上を計ることになつた

古河勞組

館で総会を開くが簡易保険郵便貯金について浅野常磐局長の講演を聴く

磐農高辯論大會

磐農高弁論部の新人弁論大会は来る二十六日午前十一時から同校講

常磐市教育豫算を承認

常磐市教育委員会の新年度予算は二千五百六十余万円に編成され十九日教育委員会を開き原案通り承認した、本年度より二百四十万円の減額となつているが、全般的に諸経費から節約したものだが、しかし第二小学校の十六教室の増改築第三小学校の六教室新築、長倉小学校講堂新築などは既定通り計上された、廿五日からの市議会に付議されるが、大体原案通り議決されるものと見られている

住宅抽選會

平市会計課では二十一日午後一時から平市営住宅の抽選会を開いた、申込百六十四名に対し抽選と決まつた者百三名、これ一日局長として執務することになつている

松本氏講演會

廿二日湯本

常磐市青文協主催で二十二日夜六時半から湯本公民館松本久吉氏（前湯本町長）の石城地方綜合開発計画についての講演会を開く、聴講無料

學校保健教育研究會開く

二十四日午前八時五十分から内郷市御厩小学校で学校保健教育研究会を開く、研究題目はトラホームの治療とその他の保健教育問題

來月十九日に竣工式

常磐郵便局

常磐郵便局は工費六百五十万円で昨年十一月末から増改築に着手している、工事は常磐市の鈴木建設をはじめ大槻工業（福島）西原工業（仙台）の手で行つているが予定通りに進行しており、三月中旬までに完了し、同月十九日正午から増改築竣工式を行うことに決つた、同局ではこの日を記念して局内を一般に公開するほか、郵便事業周知展や郵政クイズなどの催しを計画している、また矢吹市長が

四倉小PTA豐田會長辭任

四倉小PTA会長豊田美孝氏は一身上の都合により去る十三日辞表を出したが十九日小学校PTA役員会で受理することに決定した豊田氏は二十七年三月会長に選任され二年十二カ月間に残した功績は四小八十周年記念、放送設備、運動設備などを残して居り辞任は非常に惜しまれている、なお四月まで副会長新妻政雄、菅波節の両氏が会長を代理する

人事消息

◇平土地改良事務所長から猪苗代所長に転勤した潜井正二氏は廿一日九時十八分平発で赴任した

天気予報

廿一日

【今晩】西よりの風始め北部と山添地方は曇勝ち、のち全般的に晴、冷え込みが強い

【明日】西よりの風晴山添地方は時々曇、海上は今晩風波があるがのちおさまる、明日は多少風波がある

一票の一票

宮井三津男

❶個人本位（ある程度政党の方も研究する）
❷研究した、過去を振返つて候補者の活躍また新聞などによつて研究した
❸自分の考えだけで投票する、自分の意志に從つて投票するのが有権者の義務であると思う友人、家人などにきくと先入観をもつて来たり、左右されるおそれがある
❹是非必要だ、平市でも明朗市政が叫ばれているが、ガラス張りでないと政治を見つめる有権者の知識が限定される、民主政治の実現を期すためには国民の一人一人がこの主旨を理解して積極的であつて欲しい

（平市旧城跡、平市役所勤務）

古内壽美子

❶汚職とは疑獄の中に明けくれた保守党の政治ばかりです、私達働く婦人にはこりごりです、私達働く婦人の立場に立つて真に幸福を願う選挙運動が当然と思います
❷政界における略歴を見たいと思いますが残念ながらそれが出ません、唯新聞などから判断するにあるということを堅持し昨年の吉田総裁が解散を主張したのに対し総辞職を主張して遂に総辞職を断行し自由党に不利な選挙を覚悟の上でこの選挙となつたのである吉田自由党時代に汚職問題が出たが緒方時代に至つて自由党は全く新たなものとなりどの政党総裁と比較しても緒方総裁はその立派さにおいて識見において第一であることは何人も認めるところである日本の将来を托して誤りがない政党は自由党であると述べ次いで保守合同に

高久の史跡探訪記

（上）

美女や乞食王が住む

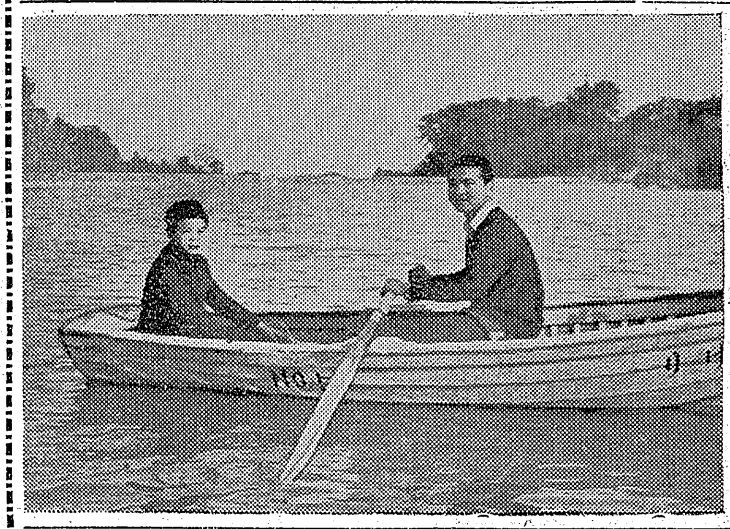
山頂に立ちならぶ千五穴

一町四カ村の合併で平市の名所旧蹟がぐっと増えてきたため観光事業も漸次活発になってきたが、石城の地にあっては最も重要な史跡高久古館を始め、アイヌ族の墓だったといわれる千五穴、古墳など数多い郷土史の秘密を埋めている高久の部落民たちは今までそれ程省みもしなかったこれらの史蹟保存に目醒め市当局に陳情する一方積極的な保存資金の調達に動き出してきた、さて記者はムカシ芸者をしたという美人や大金持の乞食が住むと半ば傳説的に言いふらされている千五穴や人間の顔をしたあわれな傳説をもつ奇岩、小鍛冶岩と称されている有望な資源地帯をなしている山肌、三尺の大鯉や太さ二寸もあるウナギが沢山いる金子沼など十九日、部落民につぶさに案内されたが次はその見聞記

（○記者）

展望の良い高久古館

案内役は高久古館の領主鈴木小二郎高久の末孫といわれるいかめしいヒゲを生やした鈴木重郎氏（元村会議長）磐城史談会員で部落の長老格だけに地元の史蹟には特にくわしい、それに部落の文化団体である湖月会の会長鈴木専代藏氏ら五人―これらの人たちはいずれも千五穴の美人や金持には一度も会っていないだけに興味ある案内役でもあった、急用のため同行出来なかった鈴木支所長さんは手帳をとり出し「奈良朝時代に東奥に八軍團が設けられたが、そのうちの一軍團だけが所在地が磐城にあるというだけでハッキリしていなかった、これは正史続日本記に書かれてあるがそれが高久古館であることが判った」と説明、これは目下県教委に露営文化財として指定して貰うべく申請中であるが一



千五穴の美女に会えないのは残念ですが―」と冗談を残してたち去った、先ず手近なところにある古館から案内された、この場所は平からバスで三十分、下高久字馬場で下車すると北側に見える高台、県道からも見えるので湖月会では高久古館と大した砦塁を作って高台の中腹にかざり、バスの中からも注目出来るような宣傳を始めた山そのものが地形的に険路や緊塁に裏ぐまれ海や燧台の見晴しもきく高台で〝武者落し〟といった切りたった五十米ほどの崖もあり、源頼義、義家が東征後奥羽の咽喉として岩城氏をこの地に拠らしめ麾長年間に至る実に五百年、奥羽の名族として栄えたことがまざまざと感ぜられた、たゞ人工的に築かれた畝畳がくずれて残りわずかとなり、郤が開墾されたり、いわれてみなければ普通の山としか感じとれぬので今後に解説をした立札やさくを設けたり、休憩所を建てたり出来れば部落民の所有する文献や古美術品を飾る美術館等も建て、見学者を集める観光宣傳に乗り出すと希望にみちた口調で説明する、実際この高台だけでなく攻撃の道を防いだといわれる高台下の金子沼という平市では一番大きなこの沼がある以上、学校の生徒たちは勿論一般の行楽地帯としては誰もが驚歎する別天地に違いあるまい、案内人ですらも今さらながら「どうして百姓は馬鹿なんだろう、早く宣傳しておけば良かったのに―」と自せきの念にかられながら語り合っていた

大鯉が群棲する金子沼

この金子沼は六町はゆうにあるという大きなものでヒヨワタンを真中から曲げたようにぐるりと廻っており、今度一万五千円でボート一隻を購入〝いらゆり〟と命名して進水したが、今後は少くも十隻位は準備して行楽客の誘致に乗出すという、たい資金がないので市内の有力商店から一隻ずつ寄附して貰い、そのボートには商店の宣傳名をとったり何とか名案をつくってやるというが、風当りが少

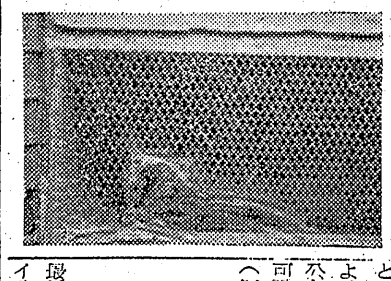
（○記者）

松山台という高台に着き、約一キロ一町位の広さがこゝも畑に開墾されている、実に見晴しのよい場所だが「昭和八年ごろこの真中にあった四坪位の古墳が誰れかに掘られてしまった、私が来た時には朱色の石棺があったがそれはも抜けの空、その棺は私の家に保存してありますが、実に残念なことをしました」と鈴木会長さんがくちおし気に語っていた、山中で人家から相当離れているだけに部落民も気づかなかったらしい、この場所は一町位の広さだが相当広いところならゴルフ場になると市当局で視察にきた一行が言っていたそうだが、附近のヤマは殆んどハゲ山、そのためあっちこっちに十段歩位の沼が五つほど点在している（写真はボートを浮かべた金子沼）

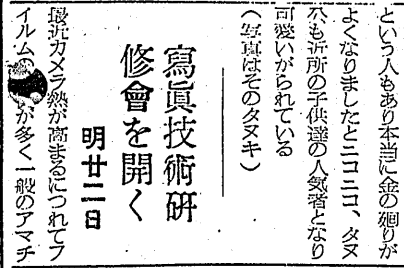
山タヌキ迷い込む

四倉で子供らの人気者に

四倉町の繁華街通りの家にタヌキが迷い込んで来た…四倉町仲町一七四醤業小松定蔵さん(七)宅につい最近の夜半にゴトンとガラス戸にダニが一杯たかっているところから山タヌキと思われる、始めはいので寝て仕舞ったところ、翌日殺して標本にしようかと思ったが周辺を見たがそれらしい形勢もなれるがメスかオスか分らない、頭の開く音に泥棒かと目をさまして



骨リンゴ、御飯などを与えて飼つタヌキを発見なんなく生捕つた、コゲ茶色の毛をしたタヌキで全長一尺五寸体重二貫目位で親タヌキと思わ



ている、迷いタヌキは線起がよいという人もあり本当に金の卵がよくなりましたとニコニコ、タヌキも近所の子供達の人気者となり可愛いがられている

（写真はそのタヌキ）

寫眞技術研修會を開く

明廿二日

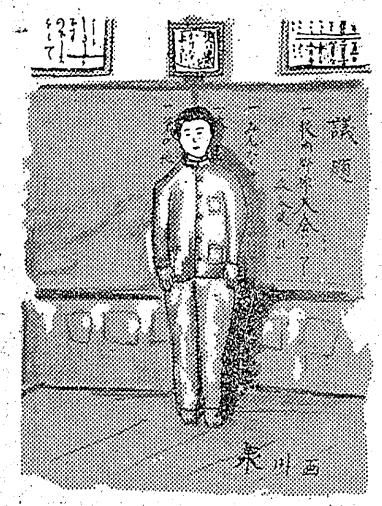
最近カメラ熱が高まるにつれてフイルムが多く一般のアマチユアはカメラまかせフイルムまかせというわけでこれも理論の裏付がないためで今度写楽会と創美会とが両村幸滅氏指導のもとに「写真技術研修会」を開く

▼第一回「絞り下価とシヤツタースピード」の理論と実技

▼時期　二月二十二日　▼参加資格　写真二年以上のアマチユア限定二十名▼会費無料▼参加申入所平田町タカサワ

ベリ山を仰ぐ子供達

泉川秀雄【89】



村上先生がくじを作って持って来た。俺は思い切って左から二番目の線を指さした。くじを引いたらなんと一回戦、六年B組と対戦である。

少しはがっかりしたが「なに負けて堪まるものか」と一人力んで職員室を出ようとしたら「健三君あのね、教室にみんないたでしょう。だからわざわざ叱る様な振りをして職員室に来てもらったのよ」と説明して下さった。

成る程である。先生ともなればこんな事に迄気を配って下さるのかと思うとなんだか急に目頭が熱くなって来るのをどうする事も出来なかった。やっぱり影山千歳つて日本一の先生なんだ。ようし、こういう立派な先生の下にいる俺らは幸福者だとつくづく感じた。

又、この日本一の先生の担任して下さる五年C組も、又すべての面で日本一立派な学級にしなくてはならないと強く自分自身に云い聞かせると共に児童会を開いて皆に頑張つてもらおうと考えた。

廊下で天野精一君に行きあったので明後日校内野球大会がある事を話したら「ではすぐ児童会を開く様影山先生に話して許可を頂こう」と云つてくれた。許可はすぐ出た。六校時に児童会は開かれた。

議題

一、校内野球大会について（発谷健三君）

一、みんな仲良くするには

一、秋の遠足について

一、その他

黒板に天野精一君が議題を右の様に書いた。

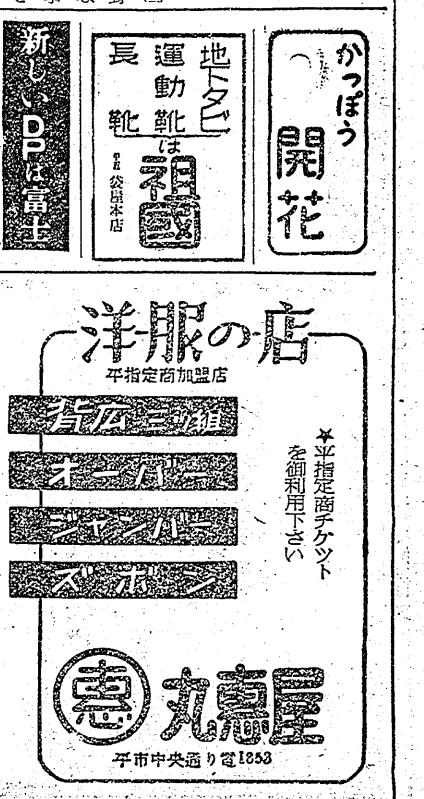
「それではこれから二十三回の学級児童会を開きます」と天野君が開会の言葉を述べた。みんな一斉に拍手をした。影山先生は事務机にむかつてやはり拍手をしていた。拍手が止むと「さつ」と天野君が起つた。

「それでは最初に発谷君に明後日行われる校内野球大会について説明して頂きます。」天野君が云い終るや嵐の様な拍手が湧いた。影山先生もニコニコしながら拍手をして居られた。余り拍手をされたので俺は赤面をした。大体俺は多くの人の前で話をするなどは出来ない性分なのである。でも体育部長をしていれば説明しなければならない。仕方なしに前に出た。

「明後日、野球大会が開かれます。そこで昼休みにくじを引いた六年B組と一回戦を行なう事になりました。」と云つたら、急に教室の中がざわめいた。ガヤガヤガヤ騒々しくなつた。そうだろう六年B組と云えば本校では強豪チームで去年も一昨年も優勝して優勝旗と優勝カップを獲得した組である。その組と対戦するのだ。

云い終つて席につこうとした「ハイ」「ハイ」「ハイ」と数人の友達が手を上げた。いくら発言しようとしても議長の許可がないと発言が出来ないからである。

みんな御尤だつた。最初から勝つ見込みがないから棄権をした方がいゝという者さえ出た。勿論勝つ見込みはないかも知れない。勝つ事のみが主目標ではない



第六瑞寶丸遭難

十名氣遣かわる

けさ捜索船隊出動

磐城市大字紺町四馬目庄治さん所有の底引き漁船第六瑞宝丸（一八トン）＝船長同市小屋内大平藤親さん（三五）ら十名乗組＝は十九日午後八時ごろ小名浜港から出漁したまゝ（二十一日正現在）帰航せず、二十日は風浪とともに強かつたゝめ避難したのではないかと安否が気遣われているなお同船には無線設備がない

二十日午前十時から南風強く風浪が高いので第六瑞宝丸と同じく双葉郡富岡の約十五ヶ浬沖合で操業中の僚船第五瑞宝丸（二二トン）宗吉丸（二三トン）は操業を中止して二十日午後四時二十分ごろ小名浜港に帰つたが、第六瑞宝丸が帰らないところから捜索願いをうけた小名浜海上保安部ゞあさちどりゞ（一三〇トン）第三幸勝丸（四〇トン）が同日午後六時に救助に出動するほか、二十一日早朝小名浜水難救護会では約二十八隻の捜索船をくり出し小名浜沖から相馬郡原釜沖合まで船間一ヶ間隔の横隊形で捜索を行つている

小名浜測候所の観測では二十日陸上最大平均風速南風二〇、六瞬間最大風速二七、二ゞゞ海上では風速二〇―二五ゞの南風が吹きまくり、うねり、浪とも四ゞの大シケだつた

なお第六瑞宝丸は無線設備がないためその後の模様が皆目つかめず

㊟遭難が㋑機関の故障による漂流か㋺あるいは流されて何処かの浜に着いているのか…判明しない

（写真は安否を気遣われる人々、上から大平船長、馬目正美さん㋩三、岩本庄太郎さん㋩）

二名が死傷

炭車の下敷で

二十、二十一日の両日炭車の脱線で坑夫三名が死傷する事件が発生した

▽二十日午前八時二十分ごろ田人村大字黒田小島鉱黒田鉱業部（専任者小島隆典氏）で支柱夫鮭田良一さん㋩も同中田進さん㋥も炭車の脱線で支柱枠が落ちて下敷きとなり、同炭鉱診療所に収容されたが鮭田さんは同九時十五分死亡、中田さんは一カ月の重傷

▽二十一日午前七時二十分ごろ常磐炭鉱鹿島坑内で全枠運搬中の佐藤彌作さん㋩＝常磐市大字水尾字亀尾一四〇＝は押していた炭車五輌が脱線その下敷となり死亡した

自轉車を盗む

山田村大字上山田字砂子無職上遠野義雄㋭は去る九日植田町本町新炭業緑川光雄さん所有の自転車一台（時価八、〇〇〇円）を揃つて後つて味を占め続いて十六日上遠野村大字小滝新藤武さん宅に忍び込んで米一斗を盗み、その足で植田町に紛れ込み金畑の桶屋業松村浅造さん㋭宅の軒下から同人所有の自転車一台（時価一五、〇〇〇円相当）を海水遊興客に売て十九日植田署に逮捕、このほか玄類時計等十数件の余罪を自供したので身柄は二十一日送検

オーバー詐取

常磐署は西白河郡白坂生れ住所不定無職深谷貞彦㋭を十八日詐欺の疑いで逮捕した、同人は去る一月八日午後六時二十分ごろボン代惣しさから常磐市天王崎九二柳政治さん方で山梨県南都留郡鰍沢村若彫町六五九呉服行商渡辺政子さん㋭に「金は今持つて来るからオーバーを借してくれ」と騙してオーバー（六千円相当）を詐取したもの

オーバー盗む

内郷署は十九日午後八時ごろ内郷市入山無職島武義㋭を窃盗の疑いで逮捕した、同人は去る十一日夜同市内郷前田呉服店佐藤文男さん㋭方に忍び込みオーバー（一万二千円相当）を盗み捕まつたもので、調べにより昨年九月ごろ同市綴町秋山洋品店松本健一さん方からセピロ一着（四千円相当）を

三輪車が轉倒

十九日午後七時ごろ平市鷲倒町沼ノ内新町地内で平市道磯字中町水産加工業志賀達三郎君（二）は磐城市江名丸商所有の自動三輪車を借り受け同家雇人渡辺利雄さん㋭を同乗させて来たが運転を誤り田に転倒し渡辺君は三輪車の下敷となり両足に全治二週間の打撲傷を受けた、なお自動車は小破した

庖丁の冴えを見せた

きのう調理士の集い

平、常磐、水戸を中心とする板前さん（調理師）の集りで福島、茨城同志会員の平常の腕を振つた調理品展示会が二十日常磐市吹谷新つた旅館で催された、出品七十余点、いずれも平常の自慢の庖丁の冴えを見せたもので数千円、万余円を投じた調理品、見る眼も美しく感嘆の声をあげるものばかりで

あつた、別室で本年初の懇親会が催され集るもの百三十余名、これより先東京から日本料理研究会正田師範が来会し料理講習を行つた

来賓として矢田東京色友会長、小井戸常磐市議（こいと旅館）菅波商業代表など来賓の祝辞があつてから会に移り、酒間に日頃の自慢話に花を咲かせて賑かであつた

常磐市および平、水戸地方の調理師百三十余名が二十日常磐市吹谷新つた旅館で懇親会を開いたが、この席上各調理師がたんの自慢の腕をふるつたお料理七十余点が展示されたが、なかには眼をうばうような美しいお料理もあつてとみに味覚をそそつた、懇親会には深谷組合長、地元側から小井戸市議（こいと旅館）が出席祝辞を述べたほか保健所長らも出席した

（写真は懇親会）

平工と磐高勝つ

高校サッカー大会

石城郡下高校のサツカー試合は二十日午前九時から植田小学校グランドで熱戦が展開された、参加校は平工、平商、磐高、小名浜高、磐農高（各一二年九チーム）この日午前中は強風雨に見舞われ最悪のコンディションにも拘らず選手の敢斗目覚しきものがあつた、戦績は左の通り

▼一年チーム
❶平工❷平商（一対〇）
▼二年チーム
❶磐高❷磐農高（一対〇）
（写真は決勝戦の磐高対磐農高戦）

感冒下火に

新春早々関東方面を騒がいさせたインフルエンザはついに石城郡には侵入せず漸く下火となつた模様（平保健所調べ）本年一月中旬から来原、京浜地区で著しく猛威を振い近県ではそれぞれに侵入防止策に腐心となり、本県でも一番関東地に近い石城郡は小中学児童生徒の欠席数を流行性感冒かと疑うほどうなど神経質な一部報道もあつたが現在までに一名の真性患者も出ず漸く石城郡のインフルエンザ恐怖は峠を越したと見られている

店頭を破壊

トラック突込む

二十日午後五時ごろ内郷市御厩字久世原地内国道を平市から時速四

あす講演會

常磐婦人連協

常磐市婦人会連絡協議会は二十二日午後一時から常磐公民館で「明るい社会建設運動」を目的とした講演会を開く、講師は財團法人修養團編集長杉山宮保氏

年賀葉書で一等に當る

勿来郵便局で売り出したお年玉年賀ハガキの一等（高級自転車一台）が同町大字白米字酒井原居住の我妻恒芳さんに当選し現品は十八日勿来局から受取つて大ニコニコ

防犯だより

水戸觀梅撮影會

平市二十米通り田中カメラ店は毎月定例の「写真教室」は二月六日水戸観梅撮影で指導者に日本写真協会八木治氏を招聘しモデルに東京アツションショウより数名を招いて開催する、会費無料（但しバス代実費四〇〇円）六日午前八時同店前出発

カメラの田中

1枚100圓で！
あなたのレコードが出來ます
圓盤錄音器設備
★すぐに吹込み出来その場でレコードをお渡し致します（出張も致します）
5丁目 電195
金光堂

◈大谷石の販賣
…良い品安く…
◈土木建築の請負
…大衆本位に…
▽…是非一度で来店を！
平土建工業所
平市南町八竈（呼）七二九

◇◇女中さん急募◇◇
御座敷女中 小間使女中若干名
十八―二十八才位まで委細面談の上優遇致します
割烹 幸樂
磐城市中明神町（幸楽通り）電二〇一番

求貨家貸間
平市内二間以上五間（賃三千―五千円）委細面談姓名在社⑤

特殊作業用運轉手募集
❶募集人員壹名❷年令二十五才以上のもので市内居住者に限る❸ブルトーザー運転経験五年以上の者❹その他委細面談履歴書持参のこと
平市才槌小路五一九 五三五 堀江工業株式會社

二男 濱崎 胖 昨秋南米アルゼンチンにて急死の報に接しまして以来厚き御同情を寄せ下され御懇情のほど有難く感謝いたしております 遺骨は去二月十日大阪入港の興船でありました神路丸にて内地出航以来五カ目目 死亡以来八十日目で帰還いたしました 来る二月二十四日午後一時から三時まで自宅において告別式を営みます略儀ながら紙上にておしらせいたします
昭和三十年二月二十一日
平市旧城跡二三
濱崎善三郎

寶樂院 葬儀の際は御多忙中にもかゝわらず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜わり御芳志の段厚く御礼申上げます 早速拝趨の上御礼申上ぐべきは本意なれど失礼乍ら紙上を以つて御挨拶申上げます
昭和三十年二月二十一日
平市土淵（マルマン商店）
男 柏原信一
男 菊地仁一
親戚代表 坂本直吉
雛 波功助

々母のこの子と〃画映竹松

松竹の母もの映畫

市川春代が母役で泣かす

この子この母

松竹映画　上京、十数年後子供の主一は医科を出て勤めた病院長の令嬢の夫の候補にあげられ、弟の二郎は船員となる、同じアパートに住む静江（紙）は主一に好意をよせ、が彼の態度は院長邸へ移ってから冷い、あやは主一の希望にみちた態度に戒めの言葉もいえず帰途自動車にはねられ、二郎と乗組んだ船が遭難をしたのを当局に連絡してアパートに帰り、静江に事情をきいて主一を母の許へ連れて来てせめる、処へ船長らが拳銃を手に二郎を捜い、あやは夢中で落ちた拳銃で船長を射つ、殺人犯としてあやは法廷に立つが弁護士尾形は母性愛に生きた女性と涙の中に弁護する、松竹大船映画＊山禅男監督　**花嫁立候補**　東宝映画＊渡辺邦男監督、青山京子、宝田明主演　**怪人二十面相**　第二部巨人対怪人松竹大船映画＊阿部進監督、若杉英二、藤乃高子主演（二十二―二十八日平館）

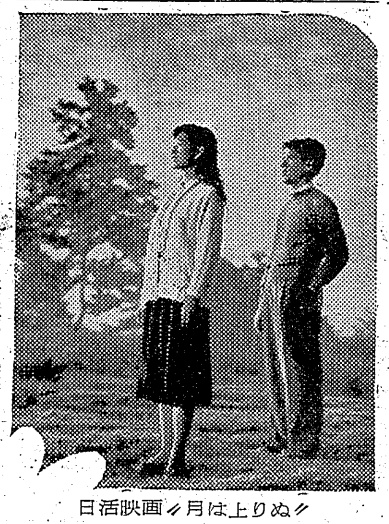
月は上りぬ　奈良へ疏開したまゝ住みついた浅井茂吉（笠）には戦亡人の千鶴（山根）未婚の綾子（杉）節子（北原）の三姉妹がいた、千鶴の亡夫の弟昌二（安井）は節子と相愛の仲彼の旧友雨宮（三島）がきたとき節子は綾子と彼を結ばうとして女中米や（田中）に電話をかけさせ二人を月の出の公園で会わせる、帰京した雨宮は綾子と万葉集の恋歌を番号で記した電報でやりとりして綾子は上京昌二は就職口を友人に頼つたことで節子に責められるが住職の世話で学校の先生の口が出来それを知つた高須（佐野）は千鶴に驚嘆して節子と昌二を結んでやる、残つた茂吉は千鶴に高須との結婚をすゝめる、日活映画田中絹代第二回監督　**ほらふき丹次**　新東宝映画＊川信夫監督、藤田進、安西郷子主演　**白き神々の座**　日活映画　毎日新聞社製作日本山岳会監修マナスル登山イーストマンカラー

モダン・タイムス　チャーリーは職工だが工場のベルトコンベアシステムに神経をいため気が変になり入院、退院してストライキの群衆にまき込まれ投獄され脱獄計画を知らせて賞として独房を与えられるが無罪で釈放される餓えた不良少女が食物を盗んで捕えられたのをみて彼も無銭飲食で署へ行き少女と共謀して逃亡、二人で愛の巣を営むが彼は勤め先で失敗、警官暴行の罪で入獄、出獄してみると少女はキャバレーの踊子をしており彼も歌う給仕として勤め大成功だが少女は感化院に入れられそうになるので二人で逃げ出す、間もなく手をとり合つて広い街道を放浪の旅に出る二人の姿が見られた、ユナイテッド映画三六年作品、チャールズ、チャップリン製作脚本監督主演音楽作曲の諷刺喜劇＊山川　**フランケンシュタインの巻**　アボット・コステロ主演喜劇（二十一―二十八日聚楽館）☆

王者の剣　父の仇を求めてバグダッドへきたハルンが古物商から求めた黄金丸の剣は不敗の力を与える威力を持ち町民にいじめられる貧民姿のカイルザンを助けるが彼女は実は太守の姫で二人の心は結ばれる、カイルザンは城へ戻され彼女は婿試合の勝者と結婚すると宣言、ハディの悪婦バカマラに剣をすりかえられハルンは敗れる、ジャファーは太守を刺そうと黄金の剣を石柱につき立て、さわぎの中に太守は殺されハルンは姫と城外に逃れる、変装したハルンが城内へ入り石柱から剣をぬきとると石柱がくずれおちジャファーらの頭上に落下、姫は良民たて旅へ出る、二年後中風になつた七五郎の繃帯は甚三にきられるがそこへ社三が突然現われ次々と賭場を取戻す、甚三らは相手が旗本の息子とあつて手も足も出ず、お静は社三と一緒になる日を待つが、父と兄の急死で断絶する家を継ぐため伯父が訪れるが社三はお静という女房がいると断る、彼女はその言葉を心に抱き彼を実家に戻す、柳沢曳後守を襲名した彼は日光営繕奉行となりその間に甚三は七五郎を殺しお静は友市をつれて流しの芸人となる、一年後大任を終えてこれを知つた社三は一夜やくざに身を変え甚三をきり、ざむらいをすてる気で行列の後にお静、友市をつれて江戸へ向う、大映京都映画弘津三男監督　**残月一騎討ち**　東映京都映画松田定次、松村昌治監督、大友柳太朗、喜多川千鶴主演　**紅孔雀**　完結篇　廃墟の秘宝　東映京都映画萩原遼監督、中村錦之助、高千穂ひづる主演（二十二―二十八日世界館）

テキサスから来た男　ユニヴァーサル映画四九年作品　オーディ・マーフィ、ゲイル・ストーム主演、テクニカラー色彩活部劇（二十三―一日ひかり座）

次男坊がらす　七五郎の娘お静（嬰蛾）は旅がらすの社三（市川）を慕うが彼女には許婚の巳之吉がいた、七五郎は社三が旗本の次男のため娘の恋をあきらめさせようとし社三も巳之助へ義理をたて旅へ出る、二年後中風になつ


日活映画〃月は上りぬ〃

いわき歌壇

北目短歌會

鈴木富美子

感情のたかぶるまゝに夕方の街づきぬけて庄にのぼりぬ　岡和一

聚落の外異状なき統死々体論固せるを手をかしどろず　松村清

可れんなる酮花窓欲の衰悩が福寿草ある朝の卓上に　佐久間利光

立枯れし草にゆとうかげろうの翻とけそむる朝のしづけさ　大内美穂子

裸木によじてハーモニカを吹く園児らは冬の日向しにはなやぎてあり　鈴木初子

社会保障制度確立を叫びて引揚げの主婦は立ちたり寒の選挙に　岡和一

寒にほとほと足の先どぎ絞りいる人の異常に長し　鈴木富美子

幅々と家ゆすりゆく車ありてわが放心を断ちて立たしむ　高藤常雄

肺病と診断されし後弟は休職の宣告にこだわりて居る　佐久間利秋

幸運の神でお祭りの雑踏にめぐまれず立つ傍観の人ら　田口清

夕焼けて人の絶えたる踏み切りの小屋の灯影に人の声する　鈴木謙四郎

目を据えて書初をする麻痺の児のその緊張を見守りて居り　後藤欣子

飛行機美しと叫ぶ少年は現実に何を正しゆくらむ　佐久間利秋

今晩のラジオ　21日

◇NHK二六〇KC
六・四五　立候補者経歴放送
七・〇〇　三つの歌
八・五（郡）立候補者政見放送（二区）
八・三五　浪曲・木村若衛
九・一五　街頭録音
一〇・〇〇　声をそろえて　中村メイ子
一〇・一五　「のんきタクシー」
一〇・五〇　風流歌草紙
◇ラジオ福島一〇八〇KC
七・三五　コロムビアアワー
八・〇〇　コンサートホール
八・三〇　連続劇「祇園の女」
八・五〇　郷土歌手ヒットメロディ
九・一五　浪曲　相模太郎
九・三五　政見放送
一〇・一五　名作アルバム
一〇・三五　夜の希望音楽会

今週の映画　15日―21日

★平館　夜六時五分　怪人二十面相　一部　次郎長一家　一部　次郎長三家　一部　地獄の花束
★民劇　夜六時三〇分　神州天馬侠二部　力道山の鉄腕巨人　警察日記
★聚楽館　夜六時三〇分　ウインの別離　叛逆者
★ひかり座　夜六時五三分　恐怖の網飾　大砂塵（二十二日まで）
★世界館　夜六時二八分　地獄谷の花嫁　紅孔雀四部　恋天狗

映画は大映

次男坊鴉

全國ファンの熱狂裡に
待ちに待つた白熱の大團圓
東　千代之介　高千穂ひづる

再びがぶつた三度笠
一日やくざのなぐり込
（雷蔵初の痛快股旅颯爽篇）

市川　雷蔵
嵯峨三智子
伊井友三郎
香川　良介
荒木　忍
上田　寛
南條新太郎

戀と人情と男の意地に
（篇結完）
星　美智子
中村　錦之助
秘寶の西條　鮎子
きよの植木　千恵
廢大友山手　弘
柳太朗

紅孔雀

22……28日

残月一騎討ち

競う快劇！
痛が涙の時代
スタアが大剣と戀と

大友柳太朗
喜多川千鶴
田代百合子
月形龍之介

世界館

日活　日活　信用ある日活映画　日活　日活　日活　日活　日活　日活

月は上りぬ

古き奈良の都に新しき
結婚の道を求めた美貌
の三人姉妹！
田中絹代が女性感覚に
訴えた流麗なロマンの世界

北原　三枝　三島　耕
杉　葉子　増田　順二
山根　壽子　汐見　洋
佐野　周二　小田切みき
笠　智衆　安井　昌二
田中　絹代

新東寶復讐大活劇！
ほらふき丹次
藤田進　安西郷子の顔合せ
同時上映
白き神々の座
日本ヒマラヤ登山隊の記録
長篇記録映畫
文部省推薦
総天然色
22日より
民劇

二月一日から七日まで上映
女の一生　天下泰平　前篇開始

この子の母

わが子よ正しくあれと
願う母が敢然と選んだ
茨の道！感動の涙を呼
ぶ大作市川春代
紙　京子
日守新一
若原雅夫
監督萩山郁男

花嫁立候補

オリムピックの女子選手が
綴るユーモアに満ちた恋愛
日記！
神山京子　宝田明　金語楼

怪人二十面相
巨人対怪人

生か死か！名探偵怪うし
若杉英二　藤乃高子　章間百合子　日守新一

22日より封切
平館